

なみえの未来をともにつくります

 なみえ

議会だより

2006.11.1

No. 114



9月定例会

町民の負託に答えることができたか 平成17年度決算…P 2 ～10
一般質問 8人登壇……………P13～21
傍聴人インタビュー・追跡どうなったあの質問…P22～23



町民の負託に 答えることができたか

平成18年第3回浪江町議会定例会が9月12日から22日までの11日間の会期で開催され、一般質問は8人が登壇して活発な質疑が交わされました。

今議会に提案された議案は、決算の認定、専決処分の承認、国民健康保険条例の一部改正など14の議案、議員発議による意見書3件が提案され、いずれも原案どおり認定・可決しました。

請願・陳情では、請願書3件（採択）・陳情書1件（採択）が審議され、意見書3件を関係機関に提出しました。

さらに、総務常任委員会・産業建設常任委員会・議会報編集特別委員会の視察研修報告が委員長よりありました。

一般会計

歳入決算額73億3232万円で、前年度決算額に比較して8億9695万円（10・9%）減少となりました。歳出決算額は71億3492万円であり、前年度に比べ8億9320万円（11・1%）の減少となりました。

主な事業は、請戸小学校改修事業1359万円、特別養護老人ホーム（オンフル双葉）増築補助事業2億1091万円、つしま活性化センター直売所整備事業719万円、消防屯所建設事業1559万円、なみえeーまちタクシーぐるりんこ運営事業1320万円、生活バス運行事業223万円、放課後児童健全育成事業2793万円などです。



決算の
認定

一般会計と特別会計を合わせた決算額は歳入総額 136 億 7376 万円（前年比 6.2% 減）、歳出総額 132 億 4875 万円（前年比 5.9% 減）で形式収支は 4 億 2500 万円の黒字決算となりました。一般会計では 1 億 9740 万円、特別会計では 11 会計の合計は、2 億 2760 万円となり各会計とも黒字決算となりました。（賛成多数で認定）

（単位：円）

平成17年度一般会計・特別会計決算額

区	分	歳入	歳出
一	般 会 計	7,332,325,219	7,134,921,288
特 別 会 計	奨学資金貸付事業	14,680,270	11,604,000
	文化及びスポーツ振興 育 成 事 業	3,736,791	3,074,000
	国民健康保険事業	2,101,613,855	2,008,135,180
	国民健康保険直営 診 療 施 設 事 業	133,356,863	119,636,303
	老 人 保 健	2,224,109,933	2,210,206,076
	工業団地造成事業	6,017,748	0
	宅 地 造 成 事 業	10,856,798	10,362,880
	公 共 下 水 道 事 業	754,062,869	711,728,785
	農 業 集 落 排 水 事 業	47,095,202	41,791,533
	介 護 保 険 事 業	1,038,586,660	997,062,984
	財 産 区 管 理 事 業	7,323,163	233,945
小	計	6,341,440,152	6,113,835,686
合	計	13,673,765,371	13,248,756,974

決
算

増す行財政改革

一般会計

決算質疑

急がれる財政改革

質問 財政改革をどのようにすすめるのか。

総務課長 行政改革集中プランにその進め方を示していますが、まず歳出削減を行います。経常経費を削減して参ります。

質問 自治体運営の町民参画をどのような形で取り入れて行くのか。

総務課長 町民参加条例を機能させていきたいと考えています。将来的には自治体基本条例を目指して行くということですが。

質問 平成18年度補正予算に積極的に活動し自治体運営に参加し提言される町民に対し補助金、支援費を増額し活力を見いだす時期だと思うがどう考えているのか。

総務課長 ボランティア支援につきましては、来年

度予算に向けて検討していきます。

財政分析は

質問 財政指数の実質公債費比率18%以内が安全圏と言われています。現在町の比率は19・5%です。将来、企業会計負担金などの増加が見込まれますが対応策は。

総務課長 一般会計においては今後、償還計画を加味した事業を行いますので債務負担行為は減少します。企業会計及び一部事務組合の負担は増加しますが25%を超えることは現時点では考えていません。

国際交流の効果は

質問 興化市との交流事業をどのように判断して

いるのか。今後もこの事業を継続していくのか。

教育長 今の青少年が国際交流を抜きに生活している時代が到来していると言っており、そういう意味では国際交流への関心や外国人への関心などを育成することの意義は計り知れないものであると感じています。

今後どうなる

町営バス

質問 生活バス「コスモス号」の運営については、今後、町負担がなくても運行継続が可能なのでしょうか。

住民生活課長 収支は赤字でした。一般の方々の利用は少なく、高校生の通学利用が多くなっています。今後の利用予測は津島分校への入学者の動向により運営状況が変わると思います。現時点では将来、町負担が必要だろうと考えています。

町税の収納対策は

質問 税金の収入未済金、不納欠損額はいくらなのか、収納対策はどの様に取り組むのか。

税務課長 平成17年度不納欠損額は4550万円です。滞納者の預金を含め財産調査等をおこない、生活の回復の見込みがないと判断した場合は、債権放棄もやむを得ないと考えてい



将来の町負担が予測される町営バス

私の意見を聞いて



若い世代の声を町政に

加藤直哉
(幾世橋)

浪江町のまちづくりには町民のエネルギーが欠かせません。町民のエネルギーを結集していくため町はコーディネーターとしての役割を求められていると思います。特に若い世代の発想や行動力を、町政の中に吹き込むことにより具体的なアクションが起こるような取り組みや仕組みが必要だと思います。今の状況では役場の下請発想だけが残ってしまい結果的にお互いが満足できないものになってしまうのではと危惧しています。

次世代に残していきたい

佐々木テル子
(西台)



「雨の日に カエルがおしっこ 手にかける」軒下でカエルと遊び、小学2年の孫の詠んだ句です。この自然な姿なんと心地良さ、この環境をいつまでも守りたいと思います。

食物生産し、台所を預かる者として、肥料農薬の規制された持続性のある農業経営、環境に優しいエコファーマー栽培、水稲、梨又はJA朝穫りの仲間全員で取得販売しており、顔の見える地産地消を次世代へ繋ぎたいと思います。



投書箱に思う

井手 玲子
(井手)

投書箱が設置されておりますが、その投書がどのように処理されているか、一町民として知りたいと思います。折角の町民の声が改善されているのか、改善されていないのかわかりません。もし差し支えなければ、町の広報・役場の一部に掲示していただければと思います。又、出先機関にも町民の声も届くようにとの声もありますので是非お願いしたいと思います。

書いて箱の中に入っているだけでは、ただ町民の声が眠ってるにすぎませんので、併せて宜しくお願い致します。

厳しさを

ます。

夜間、日曜日の納税相談、職員による一斉徴収などで収納率向上を図っていきます。

質問 収納嘱託員2名による収納嘱託員制度を導入しているが、その実績と成果は。

税務課長 この経費は国保会計から支出しています。収納嘱託員による徴収実績につきましては国保税、一般税、普通税、含めて昨年度の収納額は2010万3000円です。そのうち滞納分が123万4000円、現年度分が875万9000円です。国保会

計の収納率向上特別対策事業の報酬が204万449円です。

質問 徴収嘱託員を増員する考えはあるのか。

税務課長 現在は補助事業により行っています。補助が終わっても2人体制で大丈夫かどうか検討しているところです。

高齢者筋力トレーニングをやすらぎ荘で行っているが、その施設として機能は十分果たしている

質問 高齢者筋力トレーニングをやすらぎ荘で行っているが、その施設として機能は十分果たしている

のか。

健康福祉課長 平成18年度は750万円の交付金を利用し、いこいの村なみえ、サンシャイン浪江、ふれあいセンターなどの開催場所を検討しています。

三位一体改革の効果は

質問 三位一体改革による税源移譲で町の財政はどうなったのか。

総務課長 今回の決算で平成16年度と比較しますといわゆる税源移譲というところで所得譲与税では416

6万4000円の増となっています。地方交付税の普通交付税では1624万5000円の減となっています。臨時財政対策債では1億2713万2000円の減です。

質問 三位一体改革は地方財政圧迫というものでなく切り捨てそのものと見ているが町長はこの三位一体改革をどう評価しているのか。

町長 浪江町においても交付金あるいは臨時財政対策債等を含め非常に削減をし、さらに例えば地方譲与税等を引いたとしてもやはり大幅な減でありかなり



浪江町が一望できる丈六公園

の痛手となっています。

町村会を含め地方6団体は声を大きくして何回も国に対して「地方交付税の縮減は慎重かつその地方の声を大切に」ということを申し上げてきたところです。三位一体改革はこれで終わりとは考えていません。引き続き形を変えて進んで行くと考えています。

丈六公園を町のシンボルに

質問 丈六公園をどのように整備していくのか。

建設課長 丈六公園は大正天皇即位記念で公園に指定されました。大木の伐採や民地の買収など、できる限りの手法で全体的な眺望の

良いそして景観の良い公園づくりを目指していきます。

マリンパークの収支の見通しは

質問 マリンパークなみえの管理費4459万5000円、財源内訳は特定財源1800万円、一般財源2659万5000円ですが収支改善の見通しをどのように検討しているのか。

産業振興課長 マリンパークなみえは本年9月1日から指定管理者制度に移行しました。委託金は当初は3800万円で補正により3600万円とし200万円の減となりました。6月補正の3600万円を踏襲して2年7ヶ月間を3600万円の持ち出しで協定を結びました。パークゴルフ場の収益が見込まれたため町の持ち出しの減になったものです。今後パークゴルフ場の利用がそのまま見込まれれば平成18年度当初予算の年間3600万円が推移するものと考えています。

ごみの減量化の努力は

質問 ごみの減量をどう進めるのか、ごみ減量の目標値を設定すべきと思うが、なぜ設定しないのか。

住民生活課長 生ごみについては各家庭において自家処理等を推進しまたリサイクル物としての活用を図ることが減量化につながるものと考えています。つまりリサイクルを高めれば可燃ごみが減るという考え方もあります。ごみの堆肥化についても町としての補助制度があります。

双葉地方ごみ減量化リサイクル大作戦事業と銘打って努力を重ねています。ごみ減量化に向けて努力を続けていると言うことです。

質問 最終処分地が満杯になっています。代替地を検討中だとのことですが候補地の見込みはどのようなになっているのか。

町長 最終処分場につきましては既存の施設を想定し8か町村のいわゆる正副管理者の中で合意をみている。場所についてはそ

の地域において地権者会の話し合いが始まったばかりなので今申し上げるわけにはいきません。

産地づくり支援事業の実績は

質問 産地づくり支援事業が展開されてきました。浪江町の産地づくりがどのように進められたのか実績を報告していただきたい。

産業振興課長 平成16年4月に浪江町地域水田農業ビジョンを策定し平成18年までの3年間で目標を定める地域の農産物の向上を図る意味から取り組んでいるものです。平成17年度の作付面積の実績は大豆が23・5ha、路地野菜も0・9ha、かぼちゃが5・4ha、りんどうが2・1haで目標値を超えています。

今後も生産農家はもとよりJAの指導のもとに振興作物の一層の推進を図る努力をしていきたいと思えます。

質問 地域農業の振興の政策を発展させるために

も浪江町として「地産地消都市宣言」をし、ものづくりと自給率の向上をはかり消費者の理解を得るためにどのように検討されるのか。

産業振興課長 「地産地消宣言」は詳しく掌握していないので再度研究をさせていただきますと思います。

いつになるのか 原子力発電所建設

質問 浪江小高原原子力発電所建設の進捗状況は。

町長 未同意地権者3名のうち1名が同意し、残り2名の方も前向きな考えであると報告を受けています。用地問題が解決されれば遅くない時期に建設は進むと認識しています。

請小改修後の現状は

質問 身体に障害を持つ児童を受け入れのための請戸小学校改修工事後の現状は。

教育長 4月から1年生

に1名、2学期から3年生に2名の肢体不自由児が入学してまいりました。先生だけの管理では非常にむずかしいので、県補助を受けて1名介助員を配置したが、2名増えたことによりもう1名の介助員を確保できないかと検討しているところですが。

災害時の情報管理は

質問 災害時のバックアップ対策は。

企画調整課長 即応できるように保守点検契約を結んでおりますが、現時点ではサーバーが庁舎内にあり、使用不能となるおそれがあります。今後電算会社にソフトを預けるハウジング方式を考えております。

質問 管理費の増加による財政圧迫をどう考えるか。

総務課長 増えて良いと考えておりませんが、パソコン導入による行政サービスの向上との兼合いで今後ある程度増えるのはやむを得ないと考えます。

経費がかさむ OA機器

質問 コピー機の台数管理と経費削減をどう考えるか。

総務課長 経費は、物件費の使用料及び賃借料の中に含まれており、物件費は11・1%減額しています。今後コピー機使用料は逆に増加すると考えますが、全体的に減らす努力をいたします。

保育士の雇用体制は

質問 コスモス保育園と児童館の保育士は臨時ではなく正職員で雇うべきではないか。

総括保育所長 多くの方々に雇用の機会を与えるよう工夫して雇用形態を決めて運営していますが、重要な課題と認識しております。
町長 近年幼保一体の動きや行革もあり、アウトソーシングの対象になり得ると考えます。

基盤整備促進事業の補助金は

質問 農家の負担金が地区によって異なるのはどういうことか。

産業振興課長 津島地区は中山間総合整備事業で5%1反当り7万5千円で、棚塩地区は形態育成基盤整備事業で国50%・県30%・地元20%(町2%・農家18%)で行われました。田尻地区の計画も棚塩と同じく地元20%ですが、面積20ha以上、担い手農地の集積、認定農業者を30%増すことを要件に町が10%負担という国のガイドラインに添った制度の利用が考えられます。

町政に生かせ 職員研修

質問 職員研修の内容が役場内でどのように活かされ、町民に返されているか。

総務課長 研修には、すぐに成果が出ない個人の資質

の向上を目指すものと新たな業務に取り組むための行政課題研修があり、関係する職員に研修の発表をするようになっていきます。もう一つは専門研修で課内で成果を発表することが必要で今後そのように指導していきます。

老人クラブの 活性化対策は

質問 地域の高齢者の担い手組織として老人クラブを活性化し支援する考えは。

健康福祉課長 たとえば子ども見守り隊など実施しており、今後老人クラブと協議しながら進めてまいります。ただ老人クラブのみならず地域にある社会的資源の婦人会などといった団体にも活躍していただく必要があると考えます。

特別会計

決算質疑

増加の一途をたどる社会保障費

奨学資金貸付 事業特別会計

歳入で1468万円、歳出で1160万円。執行率は82.5%となっております。奨学資金の貸付は1160万円で、前年度決算より71万円の減。貸付未収金は72万円で前年度より2万円の増加となりました。

国民健康保険 事業特別会計

歳入総額は21億161万円、前年度より0.3%の増。歳出では20億813万円で前年度対比153.8万円、0.8%の増となりました。過年度分とあわせた国保会計の未収額は3億1078万円で、前年度より1717万円増となりました。

老人保健特別会計

75歳以上の老人及び65歳以上で障害認定を受けている老人の医療給付事業です。歳入総額22億2410万円（対前年度比2.4%増）、歳出総額22億1020万円（対前年度比3.1%増）で、差引き1390万円の黒字決算となりました。17年度末の年間延べ受給者数は3万9941人、前年度比2191人減でありました。

工業団地造成 事業特別会計

一人当りの医療費総額は63万6092円（前年度より3万7117円の増）となりました。

質問
決算書は過去10年間にわ

たり数字の動きがない。設立の目的は何だったのか。
企画調整課長
工業団地を造成するうえで資金の調達とか都市開発基金の歳入の見込みや売却の収入を明らかにするため特別会計です。現在動きがありませんので検討をしていきたいと思います。

公共下水道事業 特別会計

歳入総額7億5406万円、歳出総額7億1172万円、差引き4234万円の残額となっております。下水道建設事業は樋渡、川添地区及び権現堂地区の一部で行なわれ、事業費は3億137万円、下水道維持管理費は7575万円となっております。

質問
公共下水道事業会計決算

	公債費比率	一般会計から繰り入れ
平成15年度	35.1%	87.5%
平成16年度	36.8%	88.5%
平成17年度	41.6%	111.0%

	使用手数料	公債費の倍率
平成15年度	8600万円	3.58倍
平成16年度	9300万円	3.32倍
平成17年度	9600万円	3.26倍

の特徴について。（表1参照）

17年度の繰入金金が3億5200万円、公債費の返済が3億1300万円で返済額が上回っているがどう認識しているのか。（表2参照）

上下水道課長

下水道の必要性を考えますと今事業を止める訳にはいきません。終末処理場の増設等も3年かけてある程度縮小した形でやっていかなければと思っております。

町長

終末処理場の浄化槽の増設に10億円という金額は町の財政にとって大きな金額ですが、解決できない額ではないと検討の結果結論に至ったわけですが、今後何

年かに見直しをしていきたいと思います。

質問

平成37年度間で進める処理区域532ヘクタールの事業費分、追加投資の66億7000万円、中継ポンプ及び浄化槽センターを平成20年度まで12億円で整備すると下水道特会の地方債残高45億9100万円ですから、今後の投資分を含めると合計116億8400万円になる計算ですが、一般会計から年どれくらい繰り入れる見込みなのか。

上下水道課長

一般会計からはほぼ公債費と同じほどになるかと思えます。そのピークが平成31年ごろ4億1000万円程度になると思われます。

町長

今後かかる経費を加入者で割るといような単純なものでは図れないものと思えます。環境の浄化等々をも考えると将来に渡って町の及ぼす恩恵もあります。

質問

①下水の接続戸数が年々増えていくのに使用料、手数料の金額が少ないよう

私の意見を聞いて



若い世代のための町づくりを

の場あけみ (幾世橋)

近年は、国道6号線添いへの大型スーパー等の出店、病院の開院に伴い、私の住んでいる地区は大変賑やかになり便利にもなりましたが、職場のある中心市街地は空洞化してしまう恐れがあるのではないかと心配しています。特に若い世代の町離れ、休日の街なかの人通りの少なさに寂しさを感じています。そこで、町・町民・商店街が協力し合い誰もが集い楽しめる魅力のある町作りをしてほしいと思います。

政治浄化のため清き一票を

吉田由美子 (室原)



今回、福島県の談合疑惑、選挙違反疑惑で知事が辞職したことを受けて知事選並びに県議会議員補欠選挙が行われる事になったが、私が思うに今回の不正問題で私達一般の人間が、政治離れをおこすのではないかと危惧しております。いままでの政治の汚い部分を洗いざらい吐き出してはやく正常化を図ってほしいです。私はこんな時だからこそ政治の浄化のため、候補者の政見をよく検討して清き一票を投じたいと思います。



ゴミをツマミに酒をノミ

中谷弘治 (酒井)

私たち昭和30・31年生まれの同級生は、仲が良く自由参加で月に1度は理由をつけて酒飲みをしています。たぶん理由がなくても…。

今回はゴミの話で盛り上がりました。ボランティアに参加して考えが変わった事や荒れている所や人目のない所に多いこと、空地の草刈りをして以前よりゴミが少なくなった経験など、くどくどと。酒飲みの話は突然飛躍し、人の善意だけでは限界がある。製造者、売る側の責任、行政の取り組み、罰則の強化が必要だとあいなった。

(だれかが) それより料理残すなよ～。(自分の腹を見て) 次回はメタボリックの話か…



増設による負担増が見込まれている終末処理場

に思えるのはなぜか。また収入未済額、不納欠損額を今後どうするのか。
②地質調査委託料はこの調査費なのか。
③毎年の事業計画策定委託

料が今後かかるのか。上下水道課長

①収納額は現年度が97・5%、過年度が45%あります。未納額が固定化されているようです。不納欠

損額は生活困窮者や行方不明者・倒産・死亡とかが占めております。

②地質調査費は年度内に行う場所の地質をボーリングした費用です。

③計画策定費は昨年度にいろいろと全体計画等の見直しに掛かった費用です。

介護保険事業特別会計

歳入総額10億3858万円(対前年比3・2%増)、歳出総額9億9706万円(対前年比1・6%増)となりました。

水道事業会計

給付費のうち、居宅サービス給付費が4億9249万円(対前年度比12・0%増)施設サービス給付費が3億9802万円(対前年度比13・0%減)となった。

水道事業収益の決算額は3億7214万円で、総費用の決算額は3億2156万円となっています。それぞれの決算額を前年度と比較すると収入では60万円(0・2%)の増、支出では1030万円(3・1%)の減少となっています。

質問 (全会一致で認定) 末の森、田尻地区の水道工事で未給水、未配水地区が数件残ったのはなぜか。

上下水道課長 常警道の建設にかかる絡みで水道管の埋設がおくれている場所があります。

質問 コンビニ収納開始では手数料は一件いくらか。

上下水道課長 コンビニは9社で利用者は延べ2347件あり約900万円の収入になりました。全体の25%を占めています。手数料は一件約63円程になります。

その他の議案

①専決処分の承認を求めたいことについて

福島県市町村総合事務組合を組織する市町村数の減少及び同組合規約の変更が生じたため

(全会一致で承認)

②委託契約の締結について

戸籍電算化委託事業について指名競争入札の結果、(株)福島情報処理センターが6247万5000円で落札しました。戸籍の電算化は、戸籍の正確性を期するとともに処理時間短縮による住民サービスの向上を目指すものであります。

(賛成多数で可決)

質問

今回の指名業者が2社ということであるがなぜ2社なのか、又落札金額6247万5000円であるが設計価格はいくらか、落札率はいくらか。

助役

指名委員会で議論となりました、通常ですと5社程度以上を指名するわけでありますが、今回の戸籍電算は特殊な形ということで全国的に随意契約が大分多いということですので、競争するためには数が少なくても入札で執行したほうが公平公正ではないかという結論に達し2社の入札にしました。

住民生活課長

設計価格は税込で7843万3000千円です。又、落札率は79・7%であります。

③工事請負契約の締結について

高瀬川渓谷周辺整備事業土木工事について、相双地域広域観光拠点整備事業として、(財)福島県電源地域振興財団より助成金を受け実施するものであり補助率は3分の2であります。整備



整備が進む高瀬川渓谷

箇所としては大木惇夫詩碑付近の駐車場舗装・詩碑案内板・防護柵、一の宮駐車場付近の譜碑付近及び河川側歩道遊歩道の階段・譜碑案内版等であります。

(全会一致で可決)

質問

浪江町の観光資

源として整備することから、商工会あるいは観光協会と観光資源としての価値を高めるための協議をされたのか。

町長

観光協会には商工会長も入っており私が高瀬です。高瀬川渓谷には、

落合浪江線等元氣ふくしまの土木部関係の予算が入っており、この路線を町としてもよい環境で進めてまいりたいと関係団体とのコンセンサスは取れております。

補正予算

○平成18年度浪江町一般会計補正予算(第2号)

地方交付税、地方特例交付金及び平成17年度決算による繰越金の確定により、1億8653万円を追加し、総額を72億4788万円としました。

歳出の主なものは財政調整基金への積立金9000万円、農地費891万円、道路維持費2850万円、道路新設改良費1250万円などです。

(賛成多数で可決)

質問 高速道路推進事業費の内容は。

建設課長

工事請負費関係については、現在谷津田工区を推進中ですが、その中で青根場水路など一部道路を拡張し、水路を確保するためです。

質問

猿捕獲檻費60万円の詳

細と捕獲後の猿の処分は。

産業振興課長

林業総務費の物品購入で猿捕獲檻1基30万円で2基を予定しています。捕獲した猿については、処分のための委託料として10万円計上しました。

質問

旧高瀬川河川敷の所有権は県のものではないか。何故町で残土を運ばなければならないか。

建設課長

河川については、2級河川のため国の土地ですが管理は県です。量については、未確定ですが7000立方メートル弱、全体的には5万から6万立方メートルと推定されます。土は県のものであり、そこに運び込んだ町の土砂が一部あります。

○平成18年度浪江町国民健康保険事業特別

補正予算(第2号)

会計補正予算(第2号)

共同事業交付金、平成17年度決算による繰越金の確定により、1億2943万円を追加し、総額を21億222万円としました

(賛成多数で可決)

○平成18年度浪江町国民健康保険直営診療施設事業特別会計補正予算(第2号)

平成17年度事業確定による補正で、372万円を追加し、総額を1億904万円としました。

(全会一致で可決)

○平成18年度浪江町老人保健特別会計補正予算(第1号)

平成17年度事業確定による補正で、4157万円を追加し、総額を22億17万円としました。

(全会一致で可決)

○平成18年度浪江町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

平成17年度事業確定による補正で、2814万円を追加し、総額を7億698

6万円としました。

(全会一致で可決)

○平成18年度浪江町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

平成17年度事業確定による補正で、3679万円を追加し、総額を11億4979万円としました。

(賛成多数で可決)

○平成18年度浪江町水道事業会計補正予算(第1号)

総額は変わらないが、建設改良費で配水設備拡張費を600万円減じて、配水

設備改良費を600万円増加するなどの補正であります。(全会一致で可決)

条例の改正

○浪江町国民健康保険条例の一部改正について

出産育児一時金を30万円から35万円に増額するため改正するものです。(全会一致で可決)

同意した人事案件

特別功労者の決定について

第35回町表彰式において表彰する特別功労者として、次の2名の方々が顕彰されることについて全会一致で同意しました。

○故坂本和夫(小野田)

教育の振興に尽力された功績により

○笠井小一郎(室原)

教育の振興に尽力された功績により

皆さんから出された

請願

陳情

採択された

請願

○出資法及び貸金業規制法の改正を求める意見書提出の請願について

〔請願者〕

福島県労働福祉協議会
双葉地区労働福祉協議会
会長 佐藤 臣克

○消費税の大増税に反対する請願書

〔請願者〕

相双民主商工会
会長 紺野 重秋

○米軍基地の再編・強化、3兆円負担に反対し、「日米合意」の撤回を求める意見書の提出を求める請願書

〔請願者〕

相双民主商工会
会長 紺野 重秋

採択された

陳情

○コミュニケーション保障に係る手話通訳・要約筆記についての陳情書

〔陳情者〕

福島県聴覚障害者自立支援法対策本部
代表 石井 静子

議員発議の

意見書

○出資法及び貸金業規制法の改正を求める意見書

〔提出先〕

衆議院議長 参議院議長
内閣総理大臣 総務大臣
法務大臣 金融・経済財政担当大臣

○消費税増税に反対する意見書

〔提出先〕

内閣総理大臣
○米軍基地の再編・強化、3兆円負担に反対し、「日米合意」の撤回を求める意見書

〔提出先〕

衆議院議長 参議院議長
内閣総理大臣 外務大臣
防衛庁長官

第3回 定例会の採決状況

議案番号	件名	議決結果
議案第56号	専決処分の承認を求めることについて(福島県市町村総合事務組合を組織する市町村数の減少及び同組合規約の変更について)	承認
議案第57号	浪江町国民健康保険条例の一部改正について	原案可決
議案第58号	決算の認定について	認定
議案第59号	浪江町水道事業会計決算の認定について	認定
議案第60号	平成18年度浪江町一般会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第61号	平成18年度浪江町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第62号	平成18年度浪江町国民健康保険直営診療施設事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第63号	平成18年度浪江町老人保健特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第64号	平成18年度浪江町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第65号	平成18年度浪江町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第66号	平成18年度浪江町水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第67号	委託契約の締結について	原案可決
議案第68号	工事請負契約の締結について	原案可決
議案第69号	特別功労者の決定について	同意

8 議員が質問

■橋爪光雄議員

- (1) 土砂災害対策について
- (2) 児童虐待対策の充実について
- (3) 音楽療法について
- (4) 道路整備について

■田尻良作議員

- (1) 農業政策について
- (2) 町道整備について

■佐々木恵寿議員

- (1) 地方自治法改正に伴う副町長制度の導入について
- (2) 公益通報制度の取り組みについて
- (3) 携帯電話のメールを活用し緊急情報の配信と収集を図ることについて
- (4) つしま活性化センターの事業効果と「道の駅」設置について

■吉田数博議員

- (1) 行財政改革について

■鈴木辰行議員

- (1) 農業支援対策について
- (2) 17年度公共事業工事の発注内容について
- (3) 高齢者対策について

■渡邊文星議員

- (1) 社会福祉・介護保険制度について
- (2) 土木・町道（旧農道）整備について
- (3) 行財政・財政の現状と第4次長期総合計画との整合性について

■馬場績議員

- (1) 地域医療の拡充と医師不足対策について
- (2) 森林環境保全について
- (3) 鳥獣被害とその対策について
- (4) ゴミ処理の現状と広域圏組合の運営改善について
- (5) 町の暮らしと格差是正について
- (6) 職員採用と幹部職員養成について
- (7) 雇用創出について
- (8) 介護・福祉行政について

■佐藤文子議員

- (1) 図書館の運営について
- (2) 校内図書館の活用について
- (3) 児童・生徒の活字離れと、図書離れについて
- (4) 公立校のプール施設の管理状況は
- (5) 町管理の遊具施設の点検は

町政と問

このページには、質問した議員の質問事項が掲載されています。議会だよりに掲載する一般質問の内容は、紙面の構成上、1議員3件までの質問、答弁をそれぞれ800字以内に要約しておりますので、ご了承願います。



災害に強い街づくりを

災害危険区域の整備を図れ

質問

国土の約7割を山地や丘陵地が占める日本では、毎年梅雨や台風シーズンになると土砂災害が多発します。地形上の悪条件を増幅させ、土砂災害を多発させる要因として、雨によって地盤が緩み、突然襲う土砂災害は、河川の氾濫以上に予測が難しく、被害を防ぎにくい点が挙げられます。当町の災害危険区域は何カ所あるのか、工事計画はあるのか。

建設課長

浪江町地域防災計画における指定箇所は、地滑り箇所2カ所、土石流危険流域37カ所、急傾斜地崩壊危険箇所65カ所の位置付けとなっています。

質問

土砂災害等の危険箇所及び急カーブや狭所区間については、県の公共工事連絡調整会議で要望を重ねています。

質問

土砂災害警戒情報は都道府県と気象台で作成しますが、来年度中には、全都道府県で実施される予定。当町の土砂災害警戒情報の取り組みは。

建設課長

平成17年度から土砂災害警戒情報が開始され、向こう3年間で全県下で運用開始の計画です。今後その情報を活用し、住民の皆様には防災無線等でお知らせし、災害の対応にあたっていきます。

迅速な対応で児童を守れ

質問

県内3児童相談所が、現在継続的に観察している児童相談ケース115件のうち、リスクが高いと認められた61件について調べたが、子どもの安全を確保し、緊急の対応が必

健康福祉課長

要なケースはなかった。当町の児童虐待の恐れのある観察家庭の実態と再発防止対策は。

平成17年度の虐待通報件数6件、その内1件は身体的虐待、平成18年度4件、その内1件はDV（ドメスティックバイオレンス）残り3件については虐待は見られません

健康福祉課長

でした。再発防止対策として、住民等から寄せられた情報を民生委員や児童委員からの情報を児童相談所に伝え、健診等を通じて子どもの身体変化を注意して観察するなど、学校・保育所・幼稚園等の場を通じて、早期発見・早期に対応する体制をとっています。



▲①土砂災害現場

▼②完成した現場



土砂災害 県道 253 落合浪江線南申瘤地内 (H17年8月)

安定した農業経営を目指して

農業を取り巻く環境は、自給率の低下、農業就業人口の減少、従事者の高齢化、生産物の価格不安定、後継者の確保も困難な状況にある。農家経営の取り組みと対策を問う。

質問

農業離れの戸数及びその対策は。

産業振興課長

平成17年度浪江町の販売農家数は1291戸です、平成12年対比で122戸の減少が有り農業離れが進んでいます。

担い手への農地の集積、作業委託、集落営農組織の参画推進を図り、町は随時説明会を開催し農家経営の安定化を図っていきます。

質問

用水路を含めた水田基盤整備事業負担金の軽減対策は。

産業振興課長

現状では国県80%、町村受益者負担20%です。

事業地区内の25%以上の農地集積などのソフト事業が条件になります、事業制度を達成すれば、最大で農家負担率は5%になります。

地区内農家の同意と理解が必要です。

質問

農地の貸して借り手の掘り起こし対策は。

農業委員会事務局長

遊休農地を含めた農地の利活用推進を図る意思確認調査を実施中です。現時点では高齢化のため管理・耕作ができない。売りたい、貸したいが相

手がいない。が実態です。各地区の農業委員の方々を通じて問題解決に努力していきます。

質問

米の生産調整が19年度から生産者が主体的に取り組むシステムに変わることに ついて。

町長

18年までは行政から農業者へ生産目標（面積）の配分をしていた。19年からは国の、米の需給見通しの情報を基準に生産調整方針策作成者（JA、集落業者、集落営農組織、認定農業者）で協議



大規模圃場で農作業の効率化を

町道整備の計画は

質問

町内の簡易舗装道路は、年数経過のため路面がデコボコで穴が空き通行に支障がある。町道の改良舗装整備は。

建設課長

少ない道路整備事業費の財源を確保しながら毎年道路整備をしていきます。各部落からの要望書は一覧表にして必ず現場を調査して優先順位を検討していますが地域内の話の中で、ここは一番優先してほしいという実状情報も町側として大切に



田尻 良作 議員



|| 佐々木恵寿 議員 ||

町政と問う

一般質問

つしま活性化センターを「道の駅」として活用できないか

質問 つしま活性化センターやほのぼの市の「直売所」を「道の駅」として活用し、相乗的に有効利用ができないものか。

建設課長 津島地区に道路利用者のための休憩施設となる「道の駅」を設置することは望ましいことではないかと思いません。
質問 つしま活性化センターを地域活性化交流拠点施設として位置づけるか。

建設課長 つしま活性化センターの機能をそのまま活用しながら「道の駅」というネームバリューを利用することによって交流の拠点づくりが可能であると思います。
質問 つしま活性化センターは、国道114号線の間地点に位置して

いるが川俣町にも道の駅があります。「道の駅」の名称として登録認可や「道の駅」整備事業として可能かどうか。

建設課長 国全体から見れば福島県の「道の駅」は少ない状況です。条件が整う町村は県が支援するという認識でいます。従って、名称として登録認可と「道の駅」整備事業は可能であろうと思えます。

地方自治法改正により副町長制度の導入後はどうなるか

質問 平成19年4月、法改正により浪江町は副町長を導入する事になるが、現

行助役の任期との関係はどうなるのか。

町長 仮に現在の助役がそのまま副町長に移行した場合、任期は継続するという認識です。

質問 収入役を廃止すればその職務権限は誰が担当のか。

町長 収入役は法に従って廃止されます。会計責任者は一般職員の中から選任し私とその権限を命ずるということになります。

質問 今日の行政を取り巻く環境を踏まえて監査委員を増員する考えはないか。

町長 現時点で浪江町の規模や小さな行政を目指すという意味では増員の考えはありません。

携帯メールで緊急情報の配信と収集を図ろう

質問 災害発生時の電子情報交流システムを導入し携帯メールへの配信を可能にして、迅速な対応を図ることで安全・安心な住民生活の一層の確保を図るべきと思うがどう考えるか。

住民生活課長 災害や気象の情報等をパソコン

や携帯電話にメールでお知らせする緊急情報等メール配信サービスを実施している地方自治体が現れてきています。一度に多くの人に災害や気象の情報をリアルタイムで提供できることで防災上効果があると言われていきます。課題もありませんし、双葉地方消防本部と連携し今後検討してまいります。

質問 携帯メールを利用した教育現場での緊急連絡網を導入する考えはないか。
教育総務課長 学校連絡網の周知方法と携帯メールの活用の2本立てで万全を期する必要があると思います。



活性化対策が望まれるほのぼの市

行財政改革の推進をどう図るのか

質問

今後5年間に及ぶ行財政改革に当たっての具体的な実施計画書である集中改革プランが示されました。内容では数値化されたものは、職員定数を183人とする事、普通会計の今後の財政状況についての2点にとどまった理由は何か。

総務課長

職員定数については国から明確な数値化をするよう指示があり、その他は今後検討し具現化を図ってまいります。

質問

プランの細目は85に及ぶが、このプランが達成された上での平成22年度財政状況見通しであるのか。

総務課長

プランを確実に推進した結果に基づくものであります。

質問

プラン推進の責任体制及び役割分担の現状はどうか。

総務課長

担当課が中心となり関係課との連携を密にし定期的に進捗状況をチェック

質問

クしながら推進を図ってまいります。

質問

プランの実施が18年度完了予定が3件ありますが進捗状況は。

総務課長

上下水道事業の中長期

随意契約のあり方は

質問

国、県では物品購入やサービス提供などに関し外部と結んでいる随意契約について透明性確保の視点から総点検をし、原則廃止の予定、一方地産地消や障害者等の雇用などの政策誘導の視点から随意契約の必要性も指摘されておりますが、本町の現状は。

質問

代表監査役の認識は。

代表監査役

経費節減のため、積算基準の設定、算出根拠の明確化、保守点検業務にかかる見積り単価の検討を充分行うべきであることを指摘します。

総務課長

工事請負135件、設計等工事関係委託31件、



この子供達のために今できる事を今すぐに



|| 鈴木 辰行 議員 ||

町政と問う

一般質問

品目横断的経営安定対策への加入と農業支援は

新対策への加入推進は

質問 安定対策に加入見込みの戸数及び集落そして集積面積はいくらになるのか、また来年の3月まで加入に向けた取組をどのようにされるのか。

産業振興課長

現段階では認定農業者で37戸、集落面積は約247haの見込みです。集落での取組は現在11集落で話し合いを続けております。その中の2地区では農用地利用改善団体の認定を受けております。今後「安定対策」加入に向けJA・集荷業者との議論を深め、認定農家、担い手を主体とした集落営農への集積を進めたいと考えております。

質問 町では未加入農家への支援と町独自の農業振興策をどのようにすすめるのか。

産業振興課長

非担い手農家は生産調整に取り組むことで、新たな産地づくり交付金の対象となります。しかしこの制度は平成21年度までの措置であり、それまでに関係機関と連携して担い手の対象となるよう推進指導をしていきます。

堆肥センターを核とした資源循環型農業を確立するため、実証圃場の実施、堆肥購入や散布の助成を実施しており、今後有機農業を主体とした振興策を図ります。

町発注工事の落札率は

質問 95%以上の落札率では競争原理が働いていないと、県では指摘されているが、町ではどのように考えているのか。

助役

一概にそのように判断することは難しいと考えております。

質問

平成17年度の町発注工事の総額及び平均落札率及び最高落札率最低落札率はどのようになっているのか、また町外企業への発注総額及び落札率は、さらに一般競争入札の導入計画は。

総務課長

総額で約9億7000万円、落札率は96・4%、最高が98%で最低が92・6%となっております。町外企業への発注は約2億3000

万円で落札率は95・6%です。一般競争入札は契約の履行や事務処理の整

備などで慎重に検討する必要があります。



大豆の豊作を願い管理する生産者

『介護保険改正』による課題は

政府は、総費用の抑制を目的とした『介護保険制度維持のため』、本年4月から大幅な見直しを行なった。その結果、介護保険利用者のサービスが削られ、選択の自由も制限されて来ている。

質問

要介護の適用者で今回の制度改革により、特殊ベットの利用が適用除外になる方への町独自の救済措置の考え方は。

健康福祉課長

今月開催予定の社会福祉協議会のご遺志金活用判定会の中で論議する予定です。

質問

福祉用具貸与以外に、サービス低下を招く改善条項や案件はないか。

健康福祉課長

制度は制度とし、保険給付の適正化や介護予防施策と連携し介護高齢者

のサービスの維持向上に努めます。

質問

社会福祉の原点に立ち返って、社会福祉協議会のあり方を真剣に考え直す必要があるのでは。

健康福祉課長

地域福祉の推進を図ることが社会福祉協議会の存在意義で、その存在意義が十分発揮されるよう努めます。

旧農道（現町道）整備と河川管理の状況は

質問

町内の旧農道を町道に認定した目的は。

建設課長

地方交付税の交付を受けるために認定をしました。

質問

交付税額に見合った整備

が行なわれていない。今後の維持管理と整備計画は。

建設課長

現地を見て、その実態を十分把握した上で、ご要望等に応えるよう努力いたします。

質問

河川堤防の法面管理はどの様に取り組んでいるのか。

質問

川は町内をくまなく流れており、河川は町民全体の財産です。市街地の

建設課長

請戸川・高瀬川の管理は、市街地（町の中心地）を取り巻く河川の中で、限定された町内の7団体と町の委託契約で行なっています。

建設課長

団体に限定せず参加団体を増やす考えはないか。県管理であるが、参加団体を増やす要望はしており、今後とも努力いたします。

質問

財政状況を好転させる思い切った施策は

行財政改革を徹底して押し進め、交付金頼りから抜け出し、税収増を図る立場から、『浪江南工業団地（大平山）の推進を再考する』等、将来を見据えた思い切った施策の英断を求める。

町長

工業団地等の計画は、当然、今後の具体的施策の選択肢の中に入っています。



農作業が出来るような町道（旧農道）整備を



再度問う 産科・小児科の医師不足 対策と地域医療体制強化は

質問 県は医大助手を公的病院に派遣すると決めたが、双葉地方への医師派遣の見通しは。

健康福祉課長 9月県議会が必要経費を計上し、産科・小児科医の派遣を調整中とのこと。

質問 病院・診療所を併せて相双地方の小児科医11名、産科医は非常勤1人を含め11名、4病院・4診療所のみ。その医療体制で相双地方の周産期と新生児の死亡の現状は。

健康福祉課長 お答えします。(下表参照)

質問 県立医大の定員増は当然のこと。看護師を含む医師不足の根底には、社会保障や医療に対する国・県の財政抑制にある。体制強化の要望は。

町長 ご指摘の通り国に対して強い要望を続ける考えです。

質問 小児科の夜間救急診療が南相馬市立総合病院で開始される。双葉地方での見通しは。

健康福祉課長 郡の町村会で検討されると思います。

質問 一次試験の結果について町の独自判断もありうるのか。

職員新採用のあり方と大量退職の対応は

質問 一次試験の結果について町の独自判断もありうるのか。

	乳児死亡 (内浪江町)	新生児死亡 (内浪江町)
平成 14 年	5 人 (1 人)	4 人 (1 人)
15 年	6 人 (0 人)	3 人 (0 人)
16 年	7 人 (1 人)	4 人 (1 人)

	死 産 (内浪江町)	周産期死亡 (内浪江町)
平成 14 年	79 人 (10 人)	11 人 (2 人)
15 年	83 人 (8 人)	13 人 (1 人)
16 年	67 人 (8 人)	5 人 (0 人)

医師不足の対策は急務です

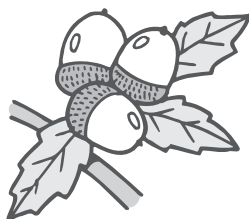
新卒の雇用対策と双葉精器跡地の企業誘致は

質問 来年度の採用計画と企業誘致、雇用の取組みは。

産業振興課長 富岡職安管内の7月末求人件数が35件、求人数155人で前年同月比で25%から37%の増です。失業者を含む雇用対策について積

町長 石川町のように金品をもらって便宜を図ることは良くないことです。一次試験の結果を絶対の条件とは考えていません。

企画調整課長 双葉精器跡地は、全て処理が終了、民間会社が保有。一社が現地調査をすすめています。町は今議会に誘致関連の予算を計上したところでです。



|| 佐藤 文子 議員 ||

図書館を見直して

質問

ふれあいセンターの二階は隣が講堂で音がロビーに漏れてきている。又、エレベーターの二階出口付近は狭くて身障者に利用しにくく、ノーマライゼーションの観点から図書館として相応しくないと思う、施設の場所についてはどう捉えているのか。

教育長

最適な場所とは言いがたいと思いますが、町が所有している公共施設の範囲では図書館となりうる面積の土地がないのが現状です。

要望の多い下履きのまま利用できるように補正予算を今議会に諮ったところですが、

質問

夏休み期間はロビーまで児童・生徒があふれていて、学習室がないため

快適に勉強できる環境とはほど遠い状態です。パソコン教室を学習室にする考えは。又、閉館時間を延長する考えは。

生涯学習課長

パソコン教室も公民館の人気の講座ですので、今後の動向をも踏まえて検討していきたいと思えます。閉館時間については夏休み期間中は午後8時まで延長しました。平日については今後検討していきます。

質問

校内図書活用上で小中学校の蔵書数の偏りからくる閲覧や貸し出し状況に差別は生じないのか。

教育長

蔵書数は大規模校との開きが1・5〜2倍程度ありますが、学級数によつて基準値がありどの学校もクリアしています。

公立校のプール・更衣室の整備は

質問

新設の学校はプールの傍にトイレと更衣室が設置されているが古い校舎の更衣室は現在ない状態で、浪中は、女子はクラブの部室、男子は体育館の舞台のカーテンの陰で着替えている。浪小も更衣室を利用せず空き教室等で対処しているが、プールには付属棟が必要ではないか。この現状を教育上どのように捉えているのか。

教育総務課長

二つの学校とも建築基準が古く現在利用ができていない状況になっています。やむを得ず体育館や空教室を使用しています。いずれプールの改築

に併せた付属棟の改修が必要ですが、検討していきたいと思えます。

公共施設の遊具点検は

質問

町内の公共施設内の遊具施設の点検、管理は。

総務課長

町営団地内は施設の巡回をし、点検しペンキの

塗り変えをしています。

建設課長

公園内は毎月1回巡回し遊具の点検をしています。ブランコ及び吊り具がすり減っているところがあり早期に交換修理を進めています。

生涯学習課長

ふれあいセンターのグランド、加倉運動公園は年に二度ほど遊具の点検をして不具合があれば修繕しております。



身障者に利用しにくい図書館

傍聴人インタビュー



9月議会傍聴人：延べ人数 27人
気軽に傍聴してください。

多くの方々に傍聴してほしい



菊地 政子 さん
(藤 橋)

●傍聴のきっかけは？

所属している更生保護女性会と女性団体連絡協議会が、女性としての政治への関心度を高めたいと年間計画の中に取り入れ、傍聴をしています。

●議員に対する要望がありますか？

提案された問題については早急に実現されるよう更なる努力をお願いいたします。

●傍聴された感想はどうでしたか？

より良い町づくりのために各議員が各々の分野で頑張っている様子を間近で見聞することが出来て感動しております。もっと多くの方に傍聴して欲しいとも思っています。

●議会や町政に対する要望がありますか？

健康づくりが急務です。町民プールなど健康増進のために気楽に利用できる施設が欲しいです。現在では他町村の施設を使わせてもらっているのが現状です。身近なところから実現して欲しいものです。

議員の皆さんのやる気を感じました

●傍聴のきっかけは？

新しい庁舎になってから一度も傍聴していなかったのと議案の内容にちょっと興味があったので。

●議員に対する要望がありますか？

地域や団体を代表しているので質問の内容はおおむね関係することが主体になると思いますが、町の将来についてを今以上に考えていただけたらと思います。

●傍聴された感想はどうでしたか？

議場の大きさに圧倒されました。議員の皆さんが熱い戦いをしてまでも来たと感じるころなんだろうなと感じました。日頃、お付き合いのある議員さんもたくさんおりますが、顔つき、態度が普段と全く違って議員としての自信や誇りを感じました。

●議会や町政に対する要望がありますか？

国や県との関係がますます難しくなっていく時代になって、町独自の発想が必要になってくると思います。議員と町職員のますますの切磋琢磨を期待しております。



馬場 信治 さん
(幾世橋)

追跡

どうなった？あの質問

一般質問は議員に与えられている重要な権限の一つです。今回「追跡どうなった？あの質問」として、一般質問の提言などが町政にどのように反映されているのかお知らせします。



出産祝い金 第1号の半谷さん

質問

少子化の支援要望が高まってありますが、具体的な対策についてどう考えていますか。

その後

少子化対策の一環として、子どもを安心して生み育てることのできる環境づくりを支援する目的として、平成18年4月に「浪江町出産祝い金条例」を制定し、第3子以降の出産に対し出産祝い金(20万円)を支給しております。

- 件数 14件
- 人数 15名

(9月末現在の支給状況)



114号
表紙より

浪江町消防団の秋季検閲式が10月15日(日)ふれあいセンターなみえで開催されました。ポンプ操法訓練では、普段の訓練の成果がきびきびした動きで披露されました。



インド旅行雑感

長瀬 昭 昌 (佐屋前)

私は友人3名(内1名インド人)とインドハリアーナ州へ1ヶ月間ホームステイをかねて観光旅行に行きました。

私の頭の中ではインドが「釈迦」の生誕の地で仏教の国と言う印象が強くありました。しかし10億の民の85%が「ヒンドウ教」10%が「イスラム教」残り5%が「仏教」でした。

一般の旅行とは違いパキスタン系インド北部の3千名位の集落で長老で村長のクマール家で寝食を共に過しました。1ヶ月間結婚式と葬式に招待されインドの生と死を観て来ました。結婚式はお菓子とカレー1歌と踊りで2日間も過します。

いつも男性上位で女性は表に顔を出しません変な結婚式です。葬式は3日間遺体を丸太で焼き「灰」を300kmもある「ガンジス川」に遺族が流しに行きました。お墓もなんにもなく日本では考えられない宗教の違いを感じました。

朝4時30分コーランの声を覚まし麦畑の水を見に行くのが日課です。

牛は水牛で家の隣にみんなと寝食を共に暮しています。女性には牛の「フン」を手で積み上げ干して燃料を作っていました。隣のハエ・カが私達を襲って来ます何百と——日本の「かとりせんこう」が神様に思えました。

ヒンドウ教の聖地を各地で見学し村長の息子のジープでガンジス川の源流を旅しました。日本人には1人も逢いません。インドの民が宗教を自分の力として生きていることを痛感した旅でした。

日本の古き良き時代を再現している様で、親は子を想い、いとこは親を敬愛し隣人は貧しくても友を愛し長老をうやまつ様子は本当に心打たれました。

今日日本では親殺し、子殺しと世相が乱れています。親を想い子をいとおしむ友を愛すすばらしい国になる様祈っています。
ナマステ(ありがとう)

編集後記

- 天高く馬肥ゆる秋とは、北からの脅威を憂いた詩である。平和ボケした日本の政治もしたたかさと成熟した大人の対応が迫られている。
- 食欲の秋、ファーストフードと飽食は人の五感を鈍くする。地方も財源が減って、議員・町職員の五感が少し良くなってきたようで9月の決算議会は社会保障費の増に対して、交付税の減、農政を始めとする地方経済の低迷に対する危機感溢れるものとなった。
- 実りの秋は動物たちにとって狩猟の時期だ。空腹は感覚を鋭くし、贅肉を落とした体は敏捷性に富む。今、地方自治体に求められていることでもある。(記・小黒 敬三)

議長 山本 幸男
委員長 佐々木恵寿
副委員長 佐藤 一男
委員 佐藤 文子/委員 小黒 敬三
委員 田尻 良作/委員 横山 精一



議会活動の近況

8月		10月	
1日	議会報編集特別委員会	12日	山形県西川町議会より、議会運営委員研修視察のため受入
2~4日	広域圏総務常任委員会行政視察	13日	臨時議会
10日	議会運営委員会	18日	議会報編集特別委員会
18日	広域圏保健衛生常任委員会	20日	埼玉県嵐山町議会より、議会視察のため受入
21日	総務常任委員会	23日	議会報編集特別委員会
22日	議会報編集特別委員会	23~24日	高速自動車道整備促進要望活動
23日	広域圏消防厚生常任委員会広域圏総務常任委員会	24日	国道114号拡幅促進特別委員会視察研修
23~24日	議会報編集特別委員会視察研修	25日	議員研修会
24日	広域圏議会運営委員会		
30日	広域圏定例会		
9月			
6日	議会運営委員会		
12~22日	総務常任委員会		
	第3回浪江町定例議会		

みなさまの声をお聞かせ下さい。

編集委員会では、議会に対する町民の声を議会だよりに掲載したいと考えております。議会傍聴時の感想等なんでも結構ですのでお声をお寄せ下さい。